

# えいひめ

5

立川と語ろう 立川に生きよう  
May 2005  
écoutez bien Vol.23 No.246



# キク科の食物繊維で発ガス物質を撃退

## 【レタス・サニーレタス】

新緑あふれる季節には、食卓も生の野菜で鮮やかに飾りたい。

ミネラルやビタミン、食物繊維、水分をバランスよく含んだレタス、サラダ菜、リーフレタス、サニーレタスは腸の働きを活性化。おいしくヘルシーなキク科の野菜だ。

「春野菜は生でいいと彩りもよくて食欲も進むわよね」という須田校長のおすすめがこちら、〈春野菜のサラダ〉。みずみずしいレタスの葉に、うどのシャリシャリ感がいい。2種類のドレッシングはお好みで、コクのあるアンチョビもよし、さっぱりと梅肉もよし。どちらも癖のないレタスにはぴったりの味。



開花待つブルーベリー

緑まぶしい葉物を出荷するかたわら、農家では初夏の支度に取りかかる。玉川上水のほとりにある吉澤一三さんの畑ではブルーベリーの受粉準備が進んでいる。畑を網で覆いミツバチを放す。藤の花のように垂れ下がる花房の間をミツバチが飛び交うのもまもなくだ。「一年中店頭に並ぶような果物より、その時期にしか味わえないものを作った方がいいよね、スーパーにはいつ行ってもなんでもあるから」と吉澤さん。

吉澤一三さん  
(砂川町)

吉澤さんと同じ砂川で、トマトを栽培している清水繁雄さんのハウスでは幸町の直売所で販売する野菜の苗が育っていた。ふた葉の苗を、これがトマト、これがピーマン、これがナスと言わっても、全部同じに見えてしまう。この違いがわかるのだから、プロはたいしたものだ。冬のなごり、ほうれん草の畝の間にキジが歩いていた。「あのキジはここに住み着いてるんですよ。メジロやモズやほかの鳥もそうだけど、こっちがトラクターに乗って畑を搔き回したり堆肥をいじると後ろからついてくる。えさが出てくるからね。で、トラクターから降りると飛んでっちゃうんですよ」。砂川では鳥も畑のプロになるらしい。



清水繁雄さん  
(砂川町)

調理指導：須田享子（日本クッキングスクール）

写真：五来孝平

### ●春野菜のサラダ

毎日食べたい元気のもと

#### レシピ

材料（4人分）

■	アンチョビードレッシング おろしにんにく少々 アンチョビペースト 小さじ1 白ワインビネガー 大さじ1 レモン汁 大さじ1 塩、こしょう 各少々 オリーブ油 大さじ3 梅肉ドレッシング 梅肉 小さじ2～砂糖 少々 米酢 大さじ1 サラダ油 大さじ2 ごま油 大さじ1
■	

#### 作り方

- 1 野菜は食べよい大きさにちぎり、氷水に5分くらいつけて水気を切る。
- 2 うどは5cm長さに切り皮をむき、細いせん切りにして酢水に軽くさらす。
- 3 そら豆は一力所切り込みを入れて塩少々入れた熱湯で2～3分ゆで、水にとり薄皮をむく。
- 4 ボールに（a）を順に入れて泡立て器でよく混ぜる。別のボールに（b）も同様にして作る。
- 5 器に野菜を盛り、サーモン、そら豆、酢大豆をちらし、（4）のソースを添える。

※サラダのトッピングいろいろ〈コーンフレーク、ナッツ、クルトン、ワンタンの皮を揚げたり、カリカリベーコンなど〉

※酢大豆はまとめて作っておく。作り方＝大豆250gを水に一晩浸け、強火で30分ゆでザルに上げ、容器に入れ、大豆がかぶるくらいまで酢を注ぎ、フタをして冷蔵庫で保存する。

# 夢は持ち続ければ、必ずかなうんです。



於: 噴町 えくてびあん編集工房で 写真: 五来 孝平

## たちかわ多文化共生センター副理事長 山田 美枝さん

■ 山田美枝（やまだ・よしこ）／千葉県生まれ。結婚後、ご主人とともに立川・幸町に住み、PTA活動をきっかけにボランティア活動に関わる。市立四中で今も続いているニユーカレドニアとの相互訪問をはじめ国際交流活動の経験から、2001年に設立されたNPO法人たちかわ多文化共生センターの副理事長に就任。地域に住む外国人のための相談事業など、草の根の国際交流に取り組んでいる。

■ 芳賀敏博（はが・としひろ）／えくてびあん編集人

芳賀 昨年10月に立川市女性総合センター・アイムで「外国人のための無料相談会」があって、たちかわ多文化共生センターが中心になって運営に当たられました。僕はその時初めてうかがって、若いボランティアの方たちを含めてきびきびと、それでいて気配りのある温かい雰囲気で、すっかり感心してしまったです。

山田 ありがとうございます。あの相談会は東京都内の各地でリレー式に開いている事業で、立川では昨年2月に続いて2回目でした。実行委員会方式で組織を作ったのですが、相談に来られる方たち

は不安な気持で来られますから、まず和やかな雰囲気でお迎えし、納得して帰っていただかないといけない。多くの人が関わりますし、ちょっとした行き違いで不愉快な思いをさせたり失礼があつては大変ですから、事前に綿密なシミュレーションもしましたけど、参加してくださったみなさんが本当に良く理解して動いてくださいました。

芳賀 山田さんはその実行委員長をされたわけですが、国際交流とかボランティア活動にはずっと関わっていらっしゃったの？

山田 いえいえ。結婚するまではずっと

会社勤めをしていましたし、立川に来てからも働いていましたからPTAの役員も断っていたんです。ところが息子が6年の時に断り切れず幸小学校で卒業対策委員をお引き受けし、それからまだ娘もいたので副会長、会長という流れになってしましました。頼まれると断り切れない性分なんでしょうね。絶対にお断りしようと心に決めていても、何度も頼まれるとつい……。

芳賀 よっしゃ！と引き受けてしまう（笑）。でも、PTAからボランティアに入られる方は多いですよね。会社とかの組織とちがって、ある意味でナマの人間同士納得してもらわないと動かないですから難しさもあるけれど面白い。

山田 これはある先輩に教えていただいたんですが、PTAというのは月謝なしで<PTA大学>で勉強させていただいているんだと（笑）。そう思えば確かにやって良かったですね。いつも思うのですが、立川は本当にすばらしい人がたくさんいらっしゃる。人材の宝庫なんです。ふだんはみなさん遠慮して出ていらっしゃらないけれど、こちらの思いがきちんと伝われば本当に大きな力が集まります。会長のときにちょうど幸小学校が20周年に当たり、地域の方たちのおかげですばらしい周年行事がきました。学校の週五日制をきっかけに月一回土曜日の午前中、地域のボランティア講師が子どもたちにご自分の得意なことを指導する「ふれあい広場」もそういう地域とのご縁から生まれました。こういうことは大変は大変ですけど、子どもたちがたくさん集まつたり喜んでくれると、なんか忘れてしまうんですよね。

芳賀 国際交流に関わられるようになっ

たのもそういった流れから？

山田 ちょうど四中のPTA会長をしていました平成7年から8年にかけてのことです。立川マラソンで交流のあるニユーカレドニアから中学生がやってきて、当初は国際理解教育を行っている柏小学校と交流をしていたんですが、一日だけ四中を訪問してすっかり意気投合してしまったんですね。そこで同年代の中学生同士の交流にした方がいいのではないかということになり、学校とPTAが協力してホームステイ家庭を募集しました。その後、地域でこの交流を支援する「立川四中国際交流支援ネットワーク」を組織して、一年ごとに相互に訪問し合う事業を続けています。

芳賀 繼続するというところが素晴らしいですね。こういう事業って、だいたい行政主導で補助金があるからやるみたいなところがありますが、地域や草の根で続ける熱意がないと中身の濃いものにはならない。それは山田さんが副理事長をされているたちかわ多文化共生センターについても言えることでしょうけれど……。

山田 四中で始めた当時は、ちょうど50周年の周年行事などとも重なって、ただただ状況に流されてどう対応するかだけだったのですが、振り返ってみるとこれがきっかけで立川の国際交流関係団体連絡会議というところに誘われ、立川にも国際交流を進める組織を作ろうと、多文化共生センターの立ち上げに関わることになりました。もっと昔のことを言うと、国際交流に関わりたいというのは中学校時代からの夢だったんです。英語が好きだったので中学の英語の先生にアメリカの少女の住所を教えていただいて、もう50年以上も文通を続けているんですよ。その後子育てもありましたし、まさかこういう形で自分が関わるなんて、な

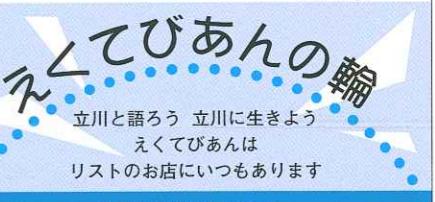
んだか不思議ですよね。夢は持ち続ければ、必ずかなう。このごろになってそう思います。

芳賀 それは、多文化共生センターやいろんなボランティアで活動している人みんなに共通すると思いますよ。思いの熱さがあれば、最初に思い描いた通りではないかもしれないけれど、夢は必ずかなう！

山田 多文化共生って、最初は私も何だかよく分からなかったんですが、いわゆる国際交流という枠組みにとらわれずに、異なる文化を持った人々がひとつ地域に住む者同士で互いに理解し、認め合ってより良い人間関係を作っていくという願いが込められています。立川市に住んでいる外国籍の方が3300人以上いらっしゃいます。多文化共生センターを立ち上げた当時は時代を先取りしたつもりでしたけど、すでに現実に多文化共生の時代が来ているんですね。現在はアイム5階に事務所を置いて、週2回の外国人相談室の運営やシンポジウムの開催、各国のお料理を習うワールドクッキングなどをしていますが、まだまだ多文化共生センターのことを知らない方もいます。

山田 四中で始めた当時は、立川に住んでいる外国人の方にもっとセンターのことを知っていただきたいし、たくさんの方にボランティアとして参加していただきたいと願っています。先ほど立川は人材の宝庫だと言いましたけど、多文化共生センターに集まってきた方たちは、自らの意志で何かをしたいという思いがある人ばかりですから、心が熱いんですよ。私なんかはおられるくらい（笑）。そういう熱い思いやモチベーションを冷やさずに十分に生かしていただけるようにしながら、地球市民という視点でみんなが手をつないでいく夢を、立川から実現したいと思います。

柴崎町	すがの歯科	柴崎町2-2-16-2F 540-2675
	紙匠 雅	柴崎町2-2-19-1F 548-1388
	ビストロすぎ浦	柴崎町2-2-23-1F 525-9929
	ステーキ&欧風料理 クワトロ	柴崎町2-3-3 528-2983
	Casual Restaurant ラ・バンバ	柴崎町2-3-3 524-5800
	Pasta Frolla 立川南口店	柴崎町2-3-3 540-8033
	不動産 ユウ都市企画	柴崎町2-3-13 528-2566
	甘味処 石や	柴崎町2-3-15 524-0862
	KIT'S SHOT BAR	柴崎町2-3-20-2F 522-8718
	不動産 コマツホーム	柴崎町2-4-6 525-5811



立川と語ろう 立川に生きよう  
えくてびあんは  
リストのお店にいつもあります

今月は 柴崎町のお店です。

柴崎町	和食の店 ななや	柴崎町2-4-22 525-6980
	田中星美堂薬局	柴崎町2-5-3 522-3913
	特むし銘茶・海苔 菊川園	柴崎町2-5-6 526-2035
	ジョイフルプラザ	柴崎町2-5-8 529-2772
	Cafe COLORADO	柴崎町2-5-8 526-2285
	マエダ文具店	柴崎町2-6-2 525-6584
	日本空手道 佐藤塾	柴崎町2-6-6-2F 548-7460
	株式会社 立川紙業	柴崎町2-7-6 527-6111
	フューネラル21	柴崎町2-8-9 540-2821
	スタジオ269	柴崎町2-8-10 527-0269

えくてびあん May 2005 No.246

# のぞいてごらん、立川のカレイドスコープ

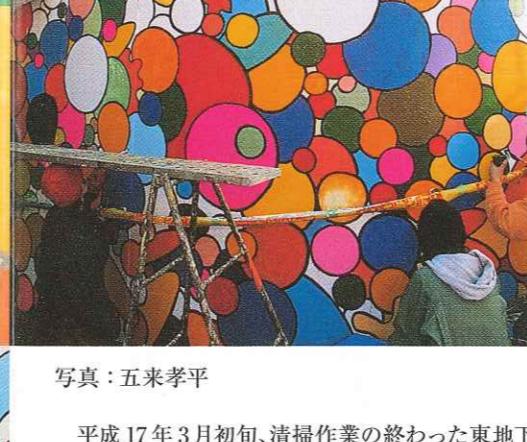
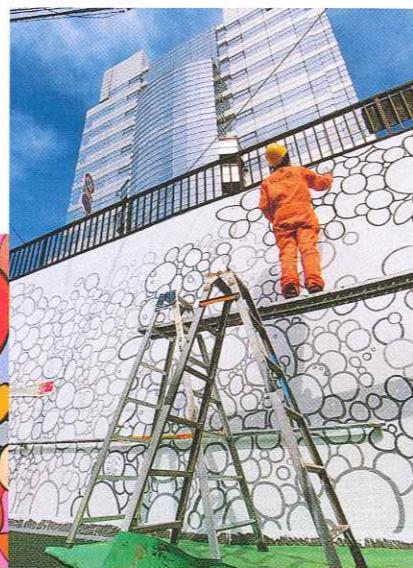
## 同志100人、心はひとつの巨大アート

JR立川駅東側の薄暗い地下道が一変した。

西地下道とはおもむきを異にする、万華鏡のような壁画ができあがった。

鮮やかな色彩が、落書きを寄せ付けない強さで迫ってくる。

若い力が立川を変える。



写真：五来孝平

平成17年3月初旬、清掃作業の終わった東地下道の壁画製作が始まつた。立川市に製作を委託されたのは、NPO法人「こどもと文化協議会・プラッツ」(理事長・本郷潤氏)。平成16年度の予算でおこなっているため、3月いっぱいで完成しなければならない。

「自分なんかは完成図がわかっているだけに焦りますよね」と、副リーダーの野澤裕さん。美大生を中心とし仲間を募った。一日だけの参加もあり。バイト返上で通うものもあり。受験しながらの参加もあり。いろいろな条件のもと、総勢100人が心ひとつに作品を創りあげた。

テーマは「接続」。地下道が立川の北と南の町を結び、人を結ぶこと、このひと時が未来へずっとつながっていくこと、そしてなによりも自己主張の



副リーダーの野澤裕さん

強い若いアーチストたちがみんなでひとつの作品を創りあげること、「接続」にはそんな意味が込められている。

モチーフは「ボタン」。色鮮やかなシャボン玉のように見えるボタンの連続。その中に何を見つけるかは通る人の楽しみ。「時間がないからってクオリティは下げたくない。おれらアーチストだから、自分も納得しないし、落書きなんかさせないほど完成度を高めたい」というリーダーの山崎泰寛さん。仲間はみんな同じ思いだ。

雨の日もあった。風の強い日もあった。花粉も飛んでいた。通行止めにしたことで苦情も言われた。作業を終えて毎晩きれいに片付けて帰る。翌朝にはゴミだらけ。そのゴミを拾って、また作業に取りかかる。のぞいてみたくなる立川のカレイドスコープ(万華鏡)。そこに映っているのは立川の将来を担う若い力。



リーダーの山崎泰寛さん

日本で消費者運動が始まったのは戦後もしばらく経った昭和41年頃。その草分け時代から立川の地で消費者の会や生活学校の開催に関わり、昭和47年には立川市生活学校連絡協議会初代会長に。今日まで食の安全から環境問題まで幅広く取り組んできた。平成12年には長年の消費者保護活動に対して経済企画庁長官から表彰状を贈られている。緑化推進にも情熱を傾け、柴崎町のご自宅前はいつも花が途切れない。さらに昭和61年には女性による社会奉仕団体・国際ソロブチミスト立川を初代会長として創立。多彩かつ多忙に日々を過ごされているが、その視点はいつも女性らしい身近な暮らしの場に根ざしている。

国営昭和記念公園で 写真:細江英公

## かたこと

若葉の季節です。裏表紙の石崎孝治さんの連載「楓の上から」も眼に染み入るような櫻の新緑に映えています。里も山も若い命が溢れるようす▼自ら振り返ってみて、若さの中にいるときは諱もなく苛立つてみたり不安だったり、さほどありがたみを感じていなかったもので▼それなのに後から振り返ると、赤面したくなるような未熟さえ懐かしく思い出されるから不思議です。それは若葉の頃がすぐに通り過ぎるように、若さが二度とはめぐってこないかけがえのない時代だからでしょう▼VIEWでご紹介した立川駅東側地下道の壁画制作も主役は若者たち。出来上がった壁画も素敵ですが、寒さに耐えながらペンキにまみれて描いた時間そのものが、彼らの宝もので▼樹々の若葉がそれぞれ個性的なように人もそれぞれ個性的。異なる個性や価値観、異なる文化が世の中をやりたせています▼対談をさせていただいた山田美枝さんが関わっていらっしゃるくたちかわ多文化共生センターは、それぞれ異なる文化を持つ人々が地域で共に暮らす仲間として生きる社会を目指しています▼それぞれの個性や違いを理解し認め合い、良い所を学び合う。色とりどりの若葉がそれぞれ違いを際立たせながら全体として春から初夏の山野を彩るよう、幅広く多彩な文化が共にあって、日本や立川の地域性もいちだんと輝くに違いありません。(芳)

スタッフ  
編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子  
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
AMNET design factory  
写真 五来孝平

## えくてびあん(C) 5月号

第23巻 通巻246号  
平成17年5月1日発行  
発行 えくてびあん編集工房  
〒190-0012  
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F  
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065  
編集人 芳賀敏博  
発行人 加賀悦也  
印刷 (株)大廣社  
無断転載を禁じます。



立川と多摩地域が  
もっと楽しいホームページ  
**多摩ではこ  
ネット**

<http://www.tamatebako-net.ne.jp/>  
多摩ではこネット編集工房  
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F  
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609  
e-mail message@tamatebako-net.ne.jp

## 常楽我淨

真如苑提供番組くじょうくらぐじょう

スカイバーフュクTV 216ch、マイ・テレビ 84ch  
土曜午前9時~9時15分  
午後7時15分~7時30分  
再放送火曜午前9時~9時15分  
午後7時45分~8時  
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて六十九年  
真如苑  
柴崎町1-2-13 Tel.527-0111(代)

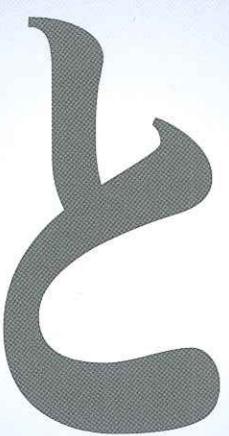
## 立川産の朝採り野菜を食卓へ

5月~9月 12:00~18:00  
10月~2月 12:00~17:00  
休日 日曜・祭日

JATOKYOみどり 幸町直売所  
〒190-0002 立川市幸町1-14-1  
Tel 042-536-2439

私たち「と」のための会社です。

人と人、企業と企業、企業・商店とお客様……いろいろなコミュニケーションがあります。私たち大廣社は、この「と」を的確に、迅速に、効果的に、行なっている会社です。



大廣社は、企画・デザインから  
印刷加工までを自社内で行っています。

PLANNING DESIGNING  
PROCESSING PRINTING  
**大廣社**  
〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13  
TEL 042-527-1949 FAX 042-527-1949  
E-mail info@daijousya.jp

## えくてびあん流

# 井戸を掘った人を忘れない 板谷元右衛門翁没後97年目の顕彰

井戸の水を飲む時、井戸を掘った人を忘れてはならない—立川の教育の先覚者であり、現在のJR立川駅が明治22年に甲武鉄道として開業するに当たり現在の駅舎を含む約3ヘクタールの土地を寄付した功労者、故・板谷元右衛門翁を顕彰する碑がモノレールに沿った南北都市軸サンサンロード北端に建てられ、3月3日、除幕式が行われた。

幕末の天保13年(1842)府中の素封家矢島家に生まれ、立川の板谷家の養子になった。明治3年には学制(明治5年)に先駆けて、私費を投じて現在の立川一小の前身である郷学校を設立。普濟寺の一部や境内の心源庵を教場に自らも教壇に立って子どもたちを教えたという。まさに立川の近代教育の先覚者。

顕彰碑はこの功績を称えて立川教育振興



会が中心になって建立されたが、交通や経済の基礎となった駅開設への貢献も同時に顕彰している。同じように地元素封家が土地を寄付した国分寺駅前には「小柳九一郎翁頌徳碑」が立つが、立川の板谷翁については「伝説」として語られるだけだった。後に料亭「丸芝館」も経営した翁が明治41年(1908)に亡くなっている。一世紀近くを経てようやく「井戸を掘った人」の顕彰碑が建った。

## タチカワ誰故草 ㉚

# ひとりでいいの主義

森 忠明

森家は病気のデパートであった。大学一年生の秋から三十七年間、祖母、母、父の看病つづき。妻は働きに出ているので、ほとんど私だけで面倒みてきた。立川消防署の救急車には幾度も世話になり、拝謝。母が死んだ五年前は父が生きていたために、それなりの葬式をしたが、昨秋、やつと父が死んでくれて解放された日には喪主ダウン寸前。経済的にも限界で、安上がりの密葬にした。墓は国立市にあるけれど、いやあな感じのదるさが抜けず、未だ納骨していない。「非道い息子だ」と父は怨んでいるだろう。でも、いいのだ。式典行事のたぐいは最勝最善のひと一人をもつて相濟ます、というのが儀法なのである。

今回は拙宅の仏壇の前で、それはナガーライナガーライナギーを捧げてくださった本誌編集長・芳賀敏博氏によつて、亡父は鎮魂された、と判断したし、亡母の場合は私の幼馴染で初恋の女性・石井かづ枝ちゃんの一言によつて、真に往生したような気がした。

「わたし、森くんのおばさんの顔が好きだったの。きれいな富士額で……」

「親父もお袋も以テ瞑スベシだな」と一息入れたのは早計だった。大学時代から四十年近くあつてきたK(福岡市在住)が、電話の向うで怒っていた。「普通の人間だった親父さんに普通の葬式もしてやらないのは不孝

の極みだぜ。それにテレビに出て残虐犯の酒鬼薔薇聖斗の味方をしてるのも好かん」。元々無法松みたいな男だが、無法松のほうがもつと深見や仏法律を保つていているだろう。『ある程度わたしの気持がわかつてくれていると思つた人に、気持が裏切られるとかえて腹が立つて、なかなか許す訳にはいかないんです。長いときのつき合いで、それが余計許す訳にはいかないんです。困つたものです』(熊谷守一氏・『蒼蠅』)。九十六歳の、全てを笑つて呑めるはずの画仙、神仏のようだった守一大人でさ

えそなうのか。先日、都内の劇場に招待されて出かけたら、萩原朔美氏に久しぶりに逢遇。氏は演劇実験室「天井桟敷」における先輩、というより指導者だった方で、一九六八年頃、希世の美少年あるいは氣鋲の演出家として周囲を幻惑しておられた。

あいさつもそこそこ御下問あり、「あなたが少年院で担当したつていう酒鬼薔薇、どういうふうな?」私は昏いホリゾントを見つめながら、「たいへん失礼かもしれません、彼は朔美さんのお祖父さまの世界、『月に吠える』の住人のよくながま」としか答えられなかつた。大詩人の孫は少し肯き、それ以上訊いてこなかつた。(少年Aについてのオレの考えは、この人ひとりに分かつてもらえばいいや)と思つた。

挿画:野崎義成



〒190-0012  
立川市曙町2-12-5 金水立川ビル3F  
TEL 042-527-8045  
営業時間  
平日 Lunch 11:00~14:30 Dinner 17:00~23:00  
日祭日 Lunch 11:00~14:30 Dinner 17:00~22:00  
定休日 月曜日

写真:五来孝平

# 風の上から

写真家 石崎幸治 の  
昭和記念公園

4



新緑どきのみんなの原っぱは、風を揚げても気持ちがいい。

いろいろな風や場所で風を上手に揚げられるようになってから、カメラを付ける。私は初めて風が揚がったとき嬉しくなって、いきなりカメラを付けた。すると風が弱まつて風はする下りてきた。ドスンと地面に着地して壊れた。カメラが。トホホ……。実はカメラは風に直接付けるのではなく、風から1.5メートルくらい下の糸(ライン)に取り付ける。風を揚げたら5分ほど様子を見るのが良い。風が安定して吹いているのを確認してからカメラを取り付ける。

このラインにカメラを取り付ける装置だけは市販されていない。各自工夫するしかない。私は折り畳み傘の心棒とカメラ用の小型自由雲台を組み合わせて作ったものを使っている。カメラの角度は自由雲台で調節する。こうするとカメラが思ったのとぜんぜん違う方向を向くことはない。

ラインに取り付けたカメラを空に向かつて離すたびに、思わず「無事に戻つて来いよ」と祈りとなる。カイツフォトは、それほどにハラハラ、ドキドキするものなのだ。

いよいよカメラを付ける